

大阪・関西万博開催に向けた御意見

御所属 吹田市立博物館 学芸員

御名前 五月女 賢司 様

1. 2025年の大阪・関西万博に何を期待しますか。

(是非すべきこと、また、するべきではないこと、後世に残すべきもの等)

⇒高齢化の次(次の半世紀)に来るものは何か(人口ピラミッドのスリム化と「新たな労働力」となる女性、外国人、現在の再任用・再雇用世代との関係性の変化)。

⇒多様性を重んじる意識を持った運命共同体の社会であることが、社会・経済が発展し一人一人が幸福感を持てる社会になるための前提。

⇒他人事の社会的課題から、自分自身に潜む社会的課題、そしてその解決に資する万博へ。課題解決のためには、一人一人の思考転換が必要だという、自分事に帰結すること。

- 目的：一人一人が充実した日々を過ごすことができる社会の創造
- 目標：社会・経済の持続可能な発展
- 社会的課題：高齢化とその後起こる急激な人口減少、社会の不寛容・偏見・分断
- 社会的・経済的発展の阻害要因：人々の尊厳、人権、QOL、生命、健康、安全な水、治安などが脅かされる社会
- 課題解決方法：一人一人が輝くことができる土台として、上記の阻害要因を取り除き、かつ社会全体が他者や自然環境に対して、寛容的、共存・共栄的となること

- 科学技術の進展は早いため、今から6年後に展示する最先端技術はもはや最先端ではなくなっている。文化の違いや社会課題の提示などに焦点を当てることも一つの方法。
- 地方が輝く手段を考えることができる万博に。
- 社会課題の発見と選択、社会課題を垣間見ることができる展示の具体化・提示の諸手法をしっかりと検討して、準備していくことが、「みんなの万博」となるための前提である(エンゲージメントの推進)。
- 万博反対論などに対しても包摂的意識で議論を。
- 方向性や視点は違っても、大人から子供まで、みんなが何らかのエモーショナルな体験を共有することで、思い出だけでなく、語り継がれ、将来にわたって新しい価値を生み出す万博。
- SDGsは多くの日本人にとって実感を伴わず他人事に聞こえる。この推進・PRが重要。
- テーマの意味を各パビリオン・プロデューサー(建築・展示)らと共有する機会を設ける。

2. 大阪・関西万博で見せるべきコンテンツは何でしょうか。

(例：最先端技術の実証、SDGs達成への貢献、ライフサイエンス分野との連携等)

- 「フェイクではない、リアルがあること」が現在の万博を開催する最大の意義である。機械化をして人を置かない空間にするのではなく、多くの国から多くのスタッフが来日し、半年間滞在することで交流が生まれるようにする(最先端技術を用いて多言語交流をするのも一案)。
- アクセサリーなどの物売りパビリオンは万博のテーマ、精神に反しているので無くす(消費のみの万博やパビリオンの排除)。
- 懐かしの1970年大阪万博パビリオン

3. 会場計画及びインフラ整備について、新たなアイデアや御意見を申し上げます。

(例：会場のデザイン、水面や緑地の利活用、待ち時間のない万博とするための手法、災害対策、暑さ対策等)

- 自然災害、地盤沈下等の対策の強化（津波避難タワー等）。
- 入場チェックを「ICOCA システム」にする。
- 会場へのアクセス手段として海上交通を確保（ベニスのゴンドラなどのような後に大阪・関西の名物になるもの）。
- 我慢する人を減らすために、巨大なトイレを多数設置（男女比を公平に検討）。

[サテライト会場（大阪・吹田の万博記念公園）について]

● 夢洲は 2025 年の開会まで立ち入ることができないので、Pre2025 も Post2025 も開催中も「万博の聖地」である大阪府吹田市の万博記念公園を「万博」や「文明・文化」のあり方を皆で議論し具体化するための空間的拠点にする（巻き込み、参画し、当事者意識を持つ「みんなの万博」）。2025 年の開会まで「万博」や「文明・文化」について考える時間そのものが、人類社会の課題解決という大きな機能を付与された現代の万博的。それは、万博の会期終了後もレガシー継承という意味で同じ。

- そのために、万博記念公園内に 2025 年の数年前までに新施設を建設し、観光・盛り上げ機能、アーカイブ機能（アーキビスト）、博物館機能（学芸員）、フォーラム機能（エドゥケーター等）を付与
- その代わりに、旧鉄鋼館はホールに戻して活性化
- 太陽の塔、旧鉄鋼館、新施設の機能分担
- 現存する旧ラオス館を元の場所に戻して活用するのも一案
- 解説パネルと解説員の充実化（多言語対応を含む）
- 2025 年・1970 年の万博資料のアーカイブ機能を充実化

[サテライト会場（広域）について]

● 夢洲以外で、博物館などの既存施設やエコミュージアムを含む町並みを活用した多くのサテライトを作り、Pre2025 から Post2025 に至るまで、時間をかける「じっくりタイプ」の参加型・体験型プログラムを実施。

4. そのほか、御自由に御意見を申し上げます。

- 全国的にはオリパラが終了しないと盛り上がらない。Post オリパラを意識して今準備。
- 「いのち輝く」ための手段を医療に限定しない。
- 空いているパビリオンを知ることができるネットのシステム。
- 万博が、楽しむ場であると同時に課題解決の場としての機能が付与される今日、面白さを追求しつつ知的空間を創出し社会に貢献しようとする博物館学等の経験や知識から学べることもある。
- 大阪・関西には関東などそれ以外の地域では考えられないくらい万博熱のある人が多いです。ぜひ、より多くの人たちを巻き込んでください。